



平成27年 7月27日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所
三河港湾事務所

お知らせ

海洋環境整備船「白龍」の一般公開を実施 ～とよはしみなとフェスティバルで850名が船内を見学～

1. 概要

7月20日(月・祝)に豊橋市で開催された「とよはしみなとフェスティバル」において、名古屋港湾事務所所属の海洋環境整備船「白龍」の一般公開を行い、850名の方に乗船いただきました。

当日は、流木回収のデモンストレーションや船長席に座っての写真撮影などを行うとともに、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾で作業を行っている浮遊ゴミ回収や油流出事故など災害発生時の油回収などについての説明やパネル展示を行いました。

なお、同船は、7月21日から引き続き、伊勢湾・三河湾での浮遊ゴミ回収作業を行ったとともに、関係機関と連携し、大規模災害に備えます。

<参考>

日時：平成27年7月20日(月・祝) 10:00～15:00

場所：三河港 神野ふ頭 3号岸壁

来場者：850名

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、豊橋市政記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 下田(しもだ)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

三河港湾事務所 前任建設管理官 服部(はっとり)

Tel 0532-32-3251 Fax 0532-32-5049



◆一般公開の様子



「白龍」全景



見学者乗船の様子



操舵室見学の様子



ミスみなとへの説明の様子



デモンストレーション
～スキッパー※によるゴミ回収～



デモンストレーション
～多関節クレーンによる流木回収～

※スキッパー：浮遊ゴミを回収する装置

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



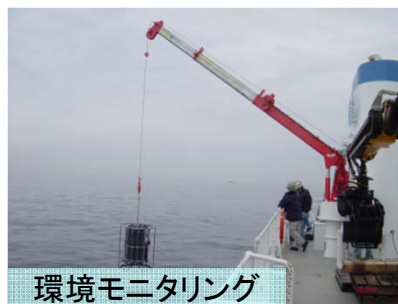
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

東日本大震災における災害支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

○海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】